大垣信金理事長に栗田氏

西脇氏は会長に就任へ

大垣信用金庫（大垣市恵比寿町）は31日、西脇史雄理事長（67）が空席だった代表権のある会長に就任し、後任の理事長に栗田順公専務理事（56）が昇任する1日付のトップ人事を発表した。同日までに開いた理事会で選任した。

今年12月に創立90周年を迎えるのを前に若返りを図り、新体制で新年度をスタートさせる。通例は6月の通常総代会と理事会で決まるが、経営基盤の強化や、周年事業の推進などを固めるため、約2カ月前倒しした選任となった。

栗田氏は「創立90周年だけではなく、100周年をも見据え、地域経済の発展のためにお客さまとの接点をさらに大切にしていきたい」と抱負を語った。

西脇氏は大垣商工会議所の副会頭を務めており、継続する。



栗田 順公氏（くりた・まさひろ）関西学院大商学部卒。80年入庫。岐阜支店長、審査第一部長兼融資企画課長などを経て、06年に理事に就任。常務理事などを経て、12年から専務理事。



西脇 史雄氏（にしわき・ふみお）同志社大経済学部卒。70年入庫。本店営業部長などを経て95年に理事に就任。審査第一部長、常務理事、専務理事などを経て、03年から理事長。

無断複製・転載を禁じます